

## 宜野湾高校の生徒達へ（66）

2020.12.22

12/16の総合的な探究の時間(総探)のテーマは、「マイプロジェクトのアクション振り返り・計画アップデート」。目標は、「マイプロジェクトを進める上での困り感を共有・解消して、マイプロジェクトの計画をアップデートする」。まず、本時の感想から紹介しよう。

◎ **違うグループの人と話す**ことで自分たちが抱えている**課題の改善点を知**ることが出来たので今日の話し合いを活かしてもっとマイプロジェクトのアクションを起こしていきたい。

◎今日の総探で**何が困っているかを確認**することができて、みんなでそれを共有してその**解決方法を話し合う**ことができ、解決することができたのでよかったです。これからの目標も見つけることができたのでよかったです。

◎前回、自分達で決めていたテーマあったけど、今回の困り感チェックシートで決めていたテーマがいまいちわからなくなり、**テーマを考え直す**ことにしました。先生たちとか友達から**たくさんのアドバイスをもら**ったりして自分のやりたいことをテーマにすることが出来ました。

◎グループで、アクションをどうやって進めるのか決めていなくて、アクションにうつせなかったけど、今日の総探の授業で、**どんなアクションをとるのか**、どうやってアポをとるのかなどを決めることができたのでよかったです。

◎**アクションとか早くやらないといけない**など言う危機感と、**どのようにすればいいのかなど**の具体例も知ることが出来たのでよかったです。

◎自分のしたいことを明確にもう一度確認することが出来たので良かったのと自分たちが考えている**アクションをすることによって何にどう繋がるかを考える**ことができたので良かったです。

◎本時の総探では、私たちがマイプロジェクトを行うにあたって**失敗していたこと、苦勞していたことややり方を変えてもう一度挑戦して改善**していく方法をグループで話し合っただけで考えることが出来ました。今日の時間を無駄にしないように頑張っていきたいと思っています。

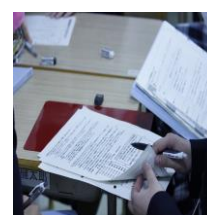
◎**SDGsへの理解が深まった**し、さらに興味を持てたと思う。みんなと同じ話題について話し合うところは協調性も深まって有意義な時間だったと思います。

◎総探の授業をやっていく毎に**楽しくなり**、マイプロジェクトを考えることが楽しくいろんなプロジェクトが思い浮かびました。これからまた悩むことがあると思うけど仲間と協力していきたいです。

◎**今後の自分の生き方にも関わる**し、**社会に出た時にとっても役に立つ**と思いました。今はまだ行動に移せてはいませんが、**行動に移すことによって1歩でも前に進むことができる**のでそういうところから挑戦していき、成功に向けてこれからも頑張りたい。

◎八重山高校の人達のプロジェクトの動画を見て、とてもいいアイデアだと思いましたし、**農家の人たちに実際に話を聞いたり**し、その後に**課題を整理**し、また、**どのようにしたらいいか**というアイデアを出していて凄いなと思いました。

◎八重山高校の人達の探求は、すごく奥が深くて、内容が凝っていてすごいなと思いました。私たちのいまの探求は、アポを撮ったりする段階までは来ているのですが、その**1歩が踏み出せなくて、思いどま**っているの、**そこを考えてみる**のもいいかなと思いました。



上の感想から、これまで持っていた「困り感」を他者からの学びによって**解決の見通し**を立てることができた生徒(テーマの見直しやアクションの仕方等)や総探に取り組む意義を確認した生徒、他校の実践からやる気をももらった生徒の姿が目には浮かび、思わず、笑みがこぼれた。「思ったより、ちゃんと取り組んでいるな」。これは親が子どもの成長を感じる瞬間に生じる感情に似ているかもしれない。

今回は、皆さんの振り返りを『宜野湾高校の生徒達へ(66)』で収めることができなかった。その理由は、皆さんが振り返りをすぐに行ったので私が目を通す振り返りの数が激増し、その結果、紹介する分量が増えたからだ。これはうれしい悲鳴というやつだ。振り返りがすぐできるようになったということは、皆さんが**PDCA サイクル(計画→実行→評価[振り返り]→改善)**を回すことができつつあることや総探の取組が**真剣度を増している**ことを示している。ちなみに、PDCA サイクルは本校のキャッチフレーズである「**気づき、考え、実行し、振り返るG1生!**」とも共通していることを確認しておこう。

皆さんは気づいていないかもしれないが、皆さんは総探に真剣に取り組む中で、これからの**社会を生き抜く力を確実に身につけている**。

沖縄県立宜野湾高等学校長 津留一郎